

問い合わせ先：

中部管区警察局広域調整第二課

災害対策官 青山 政昭

電話 052-951-6000 (5530)

第四管区海上保安本部警備課 課長 遠藤 恭介

電話 052-661-1611 (3110)

陸上自衛隊第10師団広報室 広報室長 安井 健

電話 052-791-2191 (4470)

平成25年1月24日  
中部管区警察局  
第四管区海上保安本部  
陸上自衛隊第10師団

### 「三機関共通グリッド防災情報図」について

中部管区警察局、第四管区海上保安本部及び陸上自衛隊第10師団では、地震災害などの大規模災害発生時において、連携を図り迅速かつ的確な災害応急活動を可能にするため、三機関が共通して使えるグリッド防災情報図を作成しました。

中部管区警察局、第四管区海上保安本部及び陸上自衛隊第10師団では、平成24年9月25日(火)に三機関連絡会を立ち上げ、地震発生時の災害応急活動の連携強化について協議しておりましたが、この連携強化策の一つとして「三機関共通グリッド防災情報図」の作成に取り組み、この度完成しました。

「三機関共通グリッド防災情報図」は、三機関の共通した管轄地域である愛知県、三重県及び岐阜県の3県の防災情報を網羅した地図で、発災直後の電源喪失等の事態も念頭に置き、7枚の紙の地図で構成しています。

この地図では、縦横に記載したグリッド線を使用し、三機関の災害応急活動等の実施エリアを調整したり、グリッド番号を使用して、位置情報の特定を容易にすることが出来るもので、全国からの応援部隊を指揮する際にも、地理不案内などに関係なく場所が特定できるようになるため、効率的かつ効果的な災害応急活動が可能になるものと考えています。

今後は、この図を使用して災害現場で活動するための準備を進めていく予定です。

「三機関共通グリッド防災情報図」の詳細は別添のとおりです。

平成25年1月24日  
中部管区警察局  
第四管区海上保安本部  
陸上自衛隊第10師団

「三機関共通グリッド防災情報図」について

- 1 名称 「三機関共通グリッド防災情報図」
- 2 作成機関 中部管区警察局  
第四管区海上保安本部  
陸上自衛隊第10師団
- 3 用途 災害対策（地震津波対策）
- 4 概要
  - (1) 仕様：紙の地図 7枚
  - (2) 範囲：岐阜、愛知、三重県
  - (3) 地図情報：Esri Japan社製 データセット
  - (4) 測地系：世界測地系
  - (5) 座標系：UTM座標系53系（原点は北緯0度、東経135度）
  - (6) 縮尺：1 / 100,000
  - (7) グリッド枠：5km四方を基本（最小値は1km（=図上1cm））
  - (8) 防災情報図に記載する拠点等  
緊急病院、ヘリポート、県警本部、警察署、交番・駐在所、自衛隊施設、海上保安庁施設、都道府県庁・市役所等、緊急輸送道路、主要河川名、高速道路のIC、SA、PA

【グリッド採用の理由】

これまで位置情報は、警察は住所番地で、海上保安庁は緯度・経度で、陸上自衛隊はグリッド番号で表してきたが、三機関で協議して誰にでも使用しやすいグリッドを採用したもの。

- 5 作成に至る経緯
  - (1) 平成24年9月25日、中部管区警察局、第四管区海上保安本部及び陸上自衛隊第10師団は、実働機関として、東北地方太平洋沖地震での様々な教訓・検討課題を踏まえ、大規模災害発生時の迅速かつ的確な救助救援活動を協議する場として、「大規模災害に関する三機関連絡会」を設置。  
連携強化策の一つとして三機関共通の防災情報図の策定に着手

【防災情報図の策定に着手した理由】

これまでも各機関共通の地図に対する潜在的なニーズはあり、東北地方太平洋沖地震では災害応急活動時の関係機関の連携の必要性が再確認された。特に実働機関の間では、位置情報の迅速な共有は必須との見地に立ち、まずは実働を担う三機関で防災情報図の策定に取り組んだもの。

- (2) 平成24年12月10日、防災情報図に記載すべき拠点等を決定
- (3) 平成25年1月24日、「三機関共通グリッド防災情報図」完成

6 今後の方向性

今後、三機関が参加する合同防災訓練等で使用し、その都度検証・見直しを行う予定。

本防災情報図は東海地方の三機関が試行的に作成したもので、他の関係機関にも必要な情報を発信する。

最終的には、全国で統一的な地図が作成されることが望ましいと考えている。

広域災害への効率的対応に資するための

# 三機関共通グリッド防災情報図について

中部管区警察局

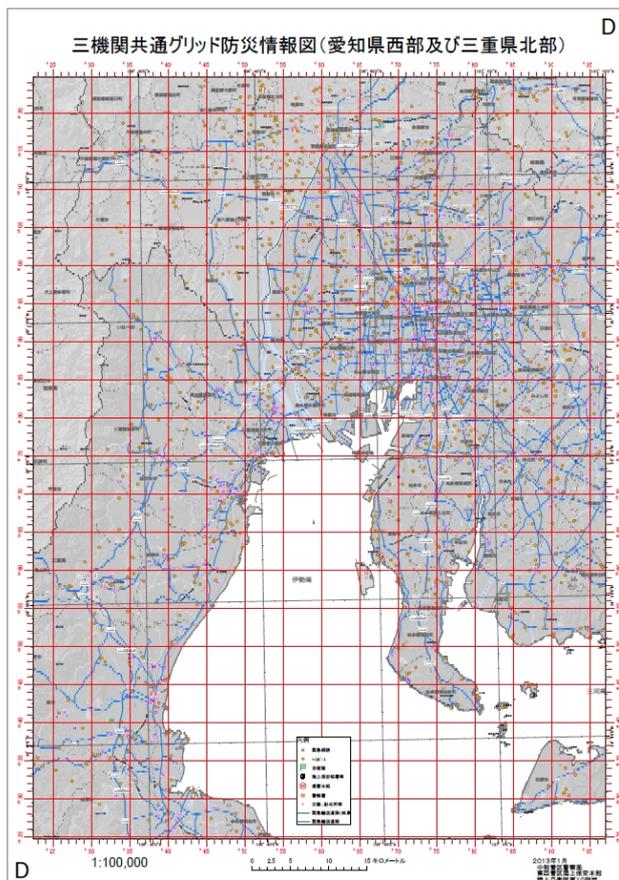
第四管区海上保安本部

陸上自衛隊第10師団

平成25年1月24日(木)

## 【三機関共通グリッド防災情報図の概要 その1】

- ◆地図情報: Esri Japan社製  
データセット
- ◆測地系: 世界測地系
- ◆座標系: UTM座標系53系  
(原点は北緯0度、東経135度)
- ◆縮尺: 1/100,000
- ◆グリッド枠: 5km四方を基本  
最小値は1km(=図上1cm)
- ◆防災情報図に記載する予定の拠点等  
緊急病院、ヘリポート、県警本部、警察署、  
交番・駐在所、自衛隊施設、海上保安庁施設、  
都道府県庁・市役所等、緊急輸送道路、主要河川名、  
高速道路のIC、SA、PA



# 【三機関共通グリッド防災情報図の概要 その2】

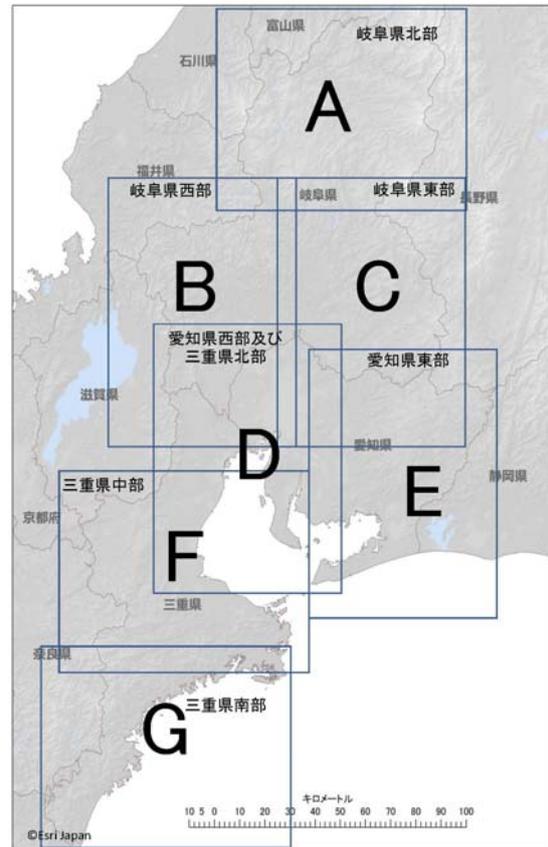
三機関共通グリッド防災情報図インデックス

## ◆範囲

岐阜、愛知、三重の3県を  
7枚の地図でカバー。

## ◆各図の識別

各図にアルファベットの地図記号  
を付与する。



# 【ポイントやエリアの特定例】

